

(事後評価)

# 相模川 総合水系環境整備事業

令和4年9月22日  
国土交通省 関東地方整備局



## 相模川の河川環境整備事業(水辺整備)に関するアンケート調査

令和2年7月  
国土交通省 関東地方整備局 京浜河川事務所

時下、皆様方におかれましてはますますご健勝のことと存じます。

この度、国土交通省京浜河川事務所では、相模川の河川環境整備事業に関する検討のためのアンケート調査を実施することになりました。

河川環境整備事業とは、水と緑のオープンスペースとしての河川空間をより良好なものとしたり、川に親しめる場所の整備を行うことを目的とした事業であり、河川の利用を促進する事業、水質や流量を改善する事業、自然環境を保全・再生する事業があります。現在、相模川では、「河川の利用を促進する事業」を行っています。

お忙しいところ、まことに恐れ入りますが、本アンケート調査の目的をご理解いただき、ご協力くださいますようよろしくお願いいたします。

### アンケートのご回答にあたって

- ・ご回答頂いた個人の意見や内容は、個人情報保護法に則り取り扱うとともに、本調査の目的以外に使用することはありません。
- ・本アンケートには、水辺整備事業による効果をお金の価値に置き換えて評価(「CVM(仮想的市場評価法)」という方法)するという、皆様にあまり馴染みのない質問形式の設問がありますことをご了承ください。
- ・なお、アンケートの回答をもとにあなたの世帯から実際に負担金を徴収することは決してありません。

次へ

# 1. 整備箇所

## 事業説明資料

- 整備箇所(田端地区(寒川町))は、河口から約4.4kmにある湘南銀河大橋付近です。
- 整備箇所(馬入地区(平塚市))は、河口から約2kmにあるJR東海道本線・馬入橋付近です。



# 2. 目的と内容

- 目的: 河川空間に安全に近づきやすくし、水辺により親しめる場となるように整備します。

- 内容: 【田端地区】<sup>ほんろ</sup>坂路(スロープ)、護岸、散策路、階段の整備
- 【馬入地区】<sup>ほんろ</sup>坂路(スロープ)、平場、散策路、階段の整備

地域と連携して、良好なまち空間と水辺空間の形成を進めるため、<sup>ほんろ</sup>坂路(スロープ)、<sup>ごかん</sup>護岸の整備、<sup>さんさくろ</sup>平場や散策路等の整備を行なっています。



堤防から河川敷に緩やかな坂路を整備



堤防の一部を拡幅し、平場を整備



水際に緩やかな護岸を整備







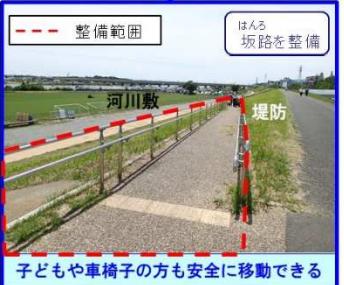

河川敷に散策路を整備

### 3. 事業の効果①（田端地区（寒川町））

	散策路	護岸
整備前（状況A）	 <p>水辺を利用しにくい</p>	 <p>水際が切り立っている 相模川</p> <p>水際に近づきにくい</p>
整備後（状況B）	 <p>通路を整備 看板はアンケート調査の対象外</p> <p>安全に水辺を利用できる</p>	 <p>水際に緩やかな護岸を整備 相模川</p> <p>水際に安全に近づける</p>

今回のアンケートは、国土交通省が整備する施設のみを対象とするもので、看板や水辺でのグラウンド整備は対象外です。

### 3. 事業の効果②（馬入地区（平塚市））

	通路	坂路（スロープ）	平場
整備前（状況A）	 <p>水辺を利用しにくい</p>	 <p>河川敷 堤防</p> <p>河川敷に移動しづらい</p>	 <p>休憩スペースがない</p>
整備後（状況B）	 <p>通路を整備</p> <p>安全に水辺を利用できる</p>	 <p>はなる坂路を整備</p> <p>子どもや車椅子の方も安全に移動できる</p>	 <p>堤防の一部を拡幅 かまくら</p> <p>【断面図】盛土</p> <p>平場の整備により休憩所などの利用施設の基盤が確保される</p>

今回のアンケートは、国土交通省が整備する施設のみを対象とするもので、平場での樹木等の整備は対象外です。（市町が整備予定）

次へ

- Q1** あなたは相模川で説明資料で示したような整備が行われていることをご存知でしたか。あてはまるものを1つ選択してください。  
 (1つでも知っていたら「知っていた」を選択してください)  
**【必須入力】**

▼ 画像をクリックして、別画面で表示される画像をご覧ください。 ▼

## 1. 整備箇所

## 事業説明資料

- 整備箇所(田端地区(寒川町))は、河口から約4.4kmにある湘南銀河大橋付近です。
- 整備箇所(馬入地区(平塚市))は、河口から約2kmにあるJR東海道本線・馬入橋付近です。

対象河川位置図 ※今回の調査対象は相模川です。



【田端地区(寒川町)】



【馬入地区(平塚市)】



## 2. 目的と内容

- 目的: 河川空間に安全に近づきやすく、水辺により親しめる場となるように整備します。
- 内容: 【田端地区】坂路(スロープ)、護岸、散策路、階段の整備  
 【馬入地区】坂路(スロープ)、平場、散策路、階段の整備

地域と連携して、良好なまち空間と水辺空間の形成を進めるため、坂路(スロープ)、護岸の整備、平場や散策路等の整備を行なっています。

坂路(スロープ)



堤防から河川敷に緩やかな坂路を整備

平場



堤防の一部を拡張し、平場を整備

護岸



水際に緩やかな護岸を整備

散策路



河川敷に散策路を整備

- 1. 知っていた
- 2. 相模川のことは知っていたが、そのような整備が行われているとは知らなかった
- 3. 相模川をよく知らない

次へ

Q2

あなたは、現在、説明資料で示した整備箇所(どのくらい訪れていますか、また、取り組みが行われる前(平成20年頃)にはどのくらい訪れていましたか。それぞれに概ねの回数をご入力ください。

【必須入力】(2個選択)

▼ 画像をクリックして、別画面で表示される画像をご覧ください。 ▼

## 1. 整備箇所

事業説明資料

- 整備箇所(田端地区(寒川町))は、河口から約4.4kmにある湘南銀河大橋付近です。
- 整備箇所(馬入地区(平塚市))は、河口から約2kmにあるJR東海道本線・馬入橋付近です。



1. ■現在 1年間に  回(半角数字)くらい訪れている
2. ■取り組み前(平成20年頃) 1年間に  回(半角数字)くらい訪れていた
3. ■一度も訪れたことはない

次へ

Q3

説明資料で示した整備箇所を訪れたことのある方にお伺いします。  
今のお住まいから相模川まで移動するのにかかる時間を教えてください。  
下記より主な交通手段を1つ選択し、移動にかかる概ねの所要時間をご入力ください。

【必須入力】

1. 歩いて  
⇒  分 (半角数字)
2. 自転車で  
⇒  分 (半角数字)
3. 自家用車・バイクで  
⇒  分 (半角数字)
4. 電車・バス(公共交通機関)で  
⇒  分 (半角数字)
5. その他  
⇒  分 (半角数字)

次へ

Q4

前問で「その他」を回答した方にお伺いします。  
交通手段を200文字以内でお答えください。

【必須入力】

次へ

Q5

あなたは、現在、相模川にどのような目的で訪れますか。  
あてはまるものを全て選択してください。  
「その他」の場合は、( )の中に具体的にご入力ください。

【必須入力】

- |  |  |
|--|--|
| <input type="checkbox"/> 1. 散歩           | <input type="checkbox"/> 7. 釣り           |
| <input type="checkbox"/> 2. 犬の散歩         | <input type="checkbox"/> 8. イベント参加       |
| <input type="checkbox"/> 3. ジョギング・ウォーキング | <input type="checkbox"/> 9. 通勤・通学        |
| <input type="checkbox"/> 4. サイクリング       | <input type="checkbox"/> 10. スポーツ・スポーツ観戦 |
| <input type="checkbox"/> 5. 休憩           | <input type="checkbox"/> 11. 現在は行かない     |
| <input type="checkbox"/> 6. 環境学習         | <input type="checkbox"/> 12. その他         |

※その他を選択した場合入力してください(200文字まで)

次へ



**Q6** あなたは、説明資料で示したような取り組みが行われる前、行われた後の相模川についてどのような印象をお持ちですか。設問毎にあてはまるものを**1つずつ**選択してください。  
【必須入力】

	1 とてもよい	2 ややよい	3 あまりよくない	4 わるい	5 わからない
<b>水辺の親しみやすさ</b>					
1. 平成20年ごろ(今から約12年前)の水辺の親しみやすさは →	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
2. 現在の水辺の親しみやすさは →	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
<b>水辺の散策等の利用</b>					
3. 平成20年頃(今から約12年前)の水辺の歩きやすさ(利用のしやすさ)は →	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
4. 現在の水辺のあるきやすさ(利用のしやすさ)は →	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
<b>水辺の景観</b>					
5. 平成20年頃(今から約12年前)の水辺の景観(見た感じ)は →	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
6. 現在の水辺の景観(見た感じ)は →	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>

次へ

**Q7** あなたは、説明資料で示したような整備の効果について、満足されていますか。あてはまるものを**1つ**お選びください。「満足していない」「その他」の場合は、その理由を【 】の中に具体的にご記入ください。  
【必須入力】

- 1. 水辺が利用しやすくなり、満足している
- 2. 地域の活性化につながり、満足している
- 3. 自然環境の学習ができ、満足している
- 4. 満足していない    
※満足していないを選択した場合入力してください(200文字まで)
- 5. その他    
※その他を選択した場合入力してください(200文字まで)

次へ

**Q8** あなたは、説明資料で示したような整備の実施について、どのようにお考えですか。あてはまるものを**1つ**お選びください。  
【必須入力】

- 1. 重要だと思う
- 2. やや重要だと思う
- 3. どちらでもない
- 4. やや重要でないと思う
- 5. あまり重要でないと思う

次へ

**【重要】**ここからは仮の質問です。説明文をよくお読みになったうえで回答下さい。

・ここからは説明資料で示した相模川の河川環境事業の今後の方向性を検討する際の参考データとするために、CVM(仮想的市場評価法)という方法を用いて、取組の効果を評価する質問を行います。  
 ・CVMとは、取組による環境の変化を回答者に説明したうえで、「**仮定**」の話として、「あなた(あなたの世帯)は、この環境が実現することに、負担金を最大いくらまでなら支払いますか」と質問し、回答者の支払う額(支払い意思額)を集計し、これに人口(あるいは世帯数)をかけ合わせて、この取組の効果を金額で評価する方法です。  
 ・実際には、事業説明資料でお示したような事業は税金によって実施されていますが、ここでは事業の効果を金額に置き換えて評価するために、仮に「事業が税金ではなく、各世帯から負担金を集めて行われるような仕組みがあったとしたら」という状況を想像して下さい。  
 ※これはあくまでも事業効果を評価するためのこのアンケート上での仮定であり、**世帯から実際に負担金を集めることは決してありません**。  
 ・**※また、この回答をもって税金の値上げを行うことも一切ありません。**

※CVMに関する詳しい説明を確認したい方は、国土交通省で作成している以下の資料を御覧ください。

- 「河川に係る環境整備の経済評価の手引き(本編)」  
[http://www.mlit.go.jp/river/basic\\_info/seisaku\\_hyouka/gaiyou/hyouka/pdf/tebiki.pdf](http://www.mlit.go.jp/river/basic_info/seisaku_hyouka/gaiyou/hyouka/pdf/tebiki.pdf)
- 「河川に係る環境整備の経済評価の手引き(別冊)」  
[http://www.mlit.go.jp/river/basic\\_info/seisaku\\_hyouka/gaiyou/hyouka/pdf/tebiki-b.pdf](http://www.mlit.go.jp/river/basic_info/seisaku_hyouka/gaiyou/hyouka/pdf/tebiki-b.pdf)

状況A (負担金を支払わない)	状況B (負担金を支払う)
<ul style="list-style-type: none"> <li>・事業説明資料で示した事業が実施されず、相模川の水辺の利用環境は改善されません。</li> <li>・あなたの世帯の負担金はありません。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・事業説明資料で示した事業が実施され、相模川の水辺の利用環境が改善されます。</li> <li>・あなたの世帯からの負担金が必要です。(今の地域にお住まいの間、負担する必要があるとします。)</li> </ul>
<p><b>【護岸】</b> 水辺付近の護岸が切り立っていて、安全に水辺へ近づきにくいいため、水と触れ合うことが困難です。</p>	<p><b>【護岸】</b> 水際の護岸を整備することにより、安全に水と触れ合える場として利用できるようになります。また、護岸も丈夫になります。</p>
 <p style="text-align: center;">未整備の水辺</p>	 <p style="text-align: center;">整備後の水辺</p>
<p><b>【通路】</b> 散策路等が整備されず、河川敷の利用や環境学習がしにくい状況です。</p>	<p><b>【通路】</b> 河川敷の散策路の整備により、河川敷の利用や環境学習等がしやすくなります。</p>
 <p style="text-align: center;">未整備の通路</p>	 <p style="text-align: center;">整備後の通路</p>

※上記以外に、坂路や平場の整備も含まれます。

※クリックしていただくと画像を拡大してご覧いただけます。

次へ

09 あなたは、説明資料の取り組み(整備)に賛成ですか、反対ですか。あてはまるものを1つ選択してください。  
**【必須入力】**

▼ 画像をクリックして、別画面で表示される画像をご覧ください。 ▼

1. 整備箇所

事業説明資料

- 整備箇所(田端地区(寒川町))は、河口から約4.4kmにある湘南銀河大橋付近です。
- 整備箇所(馬入地区(平塚市))は、河口から約2kmにあるJR東海道本線・馬入橋付近です。

対象河川位置図 ※今回の調査対象は相模川です。

【田端地区(寒川町)】

【馬入地区(平塚市)】

2. 目的と内容

- 目的: 河川空間に安全に近づきやすく、水辺により親しめる場となるように整備します。
- 内容: 【田端地区】坂路(スロープ)、護岸、散策路、階段の整備  
 【馬入地区】坂路(スロープ)、平場、散策路、階段の整備

地域と連携して、良好なまち空間と水辺空間の形成を進めるため、坂路(スロープ)、護岸の整備、平場や散策路等の整備を行なっています。

坂路(スロープ)

堤防から河川敷に緩やかな坂路を整備

平場

堤防の一部を拡張し、平場を整備

護岸

水際に緩やかな護岸を整備

散策路

河川敷に散策路を整備

- 1. 賛成
- 2. どちらでもない
- 3. 反対(この取組に効果が無い「0円」と判断したご意見として扱います。)

次へ

Q10

次の(1)～(7)に状況B(整備を行う)の負担金の額を具体的に示しますので、あなたはそれぞれについて、状況Aと状況Bのどちらが望ましいと思うかを考え、望ましいと思う方をお選びください。

なお、負担金はこの地域にお住いの間、負担していただくこととなり、この分だけあなたの世帯で使うことができるお金が減ることになる、ということをしゅうぶんに念頭においてお答えください。また、負担金は説明資料の「事業の実施」と「維持管理」のみに使われ、他の目的には一切使わないこととします。

【必須入力】

▼ 画像をクリックして、別画面で表示される画像をご覧ください。 ▼

※回答上の注意:(例1)～(例4)を読み、以下の(1)～(7)全ての設問にご回答ください。

(例1) 「世帯あたり毎月300円」までは負担金を支払う場合には、(1)～(4)の「2. 支払う(状況 B がよい)」に○、(5)～(7)の「1. 支払わない(状況 A がよい)」を選択していただくようお願いします。

回答例 (正しい)

(例2) 「世帯あたり毎月3,000円」までは負担金を支払う場合には、全て「2. 支払う(状況 B がよい)」を選択していただくようお願いします。

回答例 (正しい)

(例3) 「負担金を全く支払わない」と考えた場合には、全て「1. 支払わない(状況 A がよい)」を選択していただくようお願いします。

回答例 (正しい)

(例4) 負担金額は、右図のように中間額だけ「支払う」・「支払わない」とする場合は、適切な回答にはなりません。(右図の回答では、「世帯あたり毎月500円」を支払うという回答にはなりません。例1～例3のように選択してください。)

回答例 (誤り)

回答例 (誤り)

	1 支払わない(状況 A がよい)	2 支払う(状況 B がよい)
--	----------------------	--------------------

【状況Bの世帯あたりの負担金】

1. 状況Bの負担金が、世帯あたり毎月 30 円 (年間あたり 360 円)	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
2. 状況Bの負担金が、世帯あたり毎月 50 円 (年間あたり 600 円)	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
3. 状況Bの負担金が、世帯あたり毎月 100 円 (年間あたり 1,200 円)	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
4. 状況Bの負担金が、世帯あたり毎月 300 円 (年間あたり 3,600 円)	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
5. 状況Bの負担金が、世帯あたり毎月 500 円 (年間あたり 6,000 円)	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
6. 状況Bの負担金が、世帯あたり毎月 1,000 円 (年間あたり 12,000 円)	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
7. 状況Bの負担金が、世帯あたり毎月 3,000 円 (年間あたり 36,000 円)	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>

次へ

- Q11** 前問(Q10)で、1つでも「支払う(状況Bが良い)」を選んだ方にお伺いします。  
「支払う(状況Bが良い)」と思う理由は何ですか。  
あてはまるものを**全て**お選びください。  
「その他」の場合は、できるだけ具体的にご記入ください。(いくつでも)

【必須入力】

- 1. 子供たちの環境学習の場になるから
- 2. 散歩やジョギングなどができるようになるから
- 3. 相模川の水辺を利用しやすくなるから
- 4. 他の人や将来の世代にとって良いことだと思うから
- 5. 川が濁らなくなるから
- 6. その他【】  
※その他を選択した場合入力してください(200文字まで)

次へ

- Q12** 前問(Q10)で、すべてで「支払わない(状況Aが良い)」を選んだ方にお伺いします。  
「支払わない(状況Aが良い)」と思う理由は何ですか。  
最も近いと思うものを**1つ**お選びください。  
「その他」の場合は、できるだけ具体的にご記入ください。

【必須入力】

- 1. この整備事業を行わない方が良いと思うから(事業に反対だから)
- 2. 事業は行われるほうが良いと思うが、毎月30円(年間360円)を支払う価値はないと思うから
- 3. この取り組みより他の事業を優先したほうが良いと思うから
- 4. これだけの情報では判断できないから
- 5. その他【】  
※その他を選択した場合入力してください(200文字まで)

以上で仮定の質問は終わりです。

**【重要】**繰り返しになりますが、Q9～10はあくまでもアンケート上での仮定の質問であり、世帯から実際に負担金を集めることは決してありません。

次へ

- Q13** 今回のアンケートのように、仮定の話として「この事業が行われるのであれば、何円支払っても良い」という、仮定の支払い意思額をアンケートで回答頂き、相模川における取組の効果を評価する方法をCVM(仮想市場評価法)と言います。  
このような調査方法を用いて、取組の効果を評価することについて、あなたはどのように思われますか。

【必須入力】

- 1. このような調査方法(CVM)を用いて、取組の効果を評価することに賛成
- 2. このような調査方法(CVM)を用いて、取組の効果を評価することに反対
- 3. わからない

次へ

Q14

「本アンケート」や「相模川環境整備事業」について、  
また、水辺の利用や環境なども含めた河川に係る取組全般について、  
今後の河川整備事業の参考にしたいと思いますので、ご意見や感想がありましたらご自由に記載ください。

※500文字以内でご記入ください。

なお、繰り返しになりますが、負担金を支払うかどうかをお伺いした質問は仮定の質問であり、この調査の回答結果をもとに世帯から実際に負担金を集めることは決してありません。

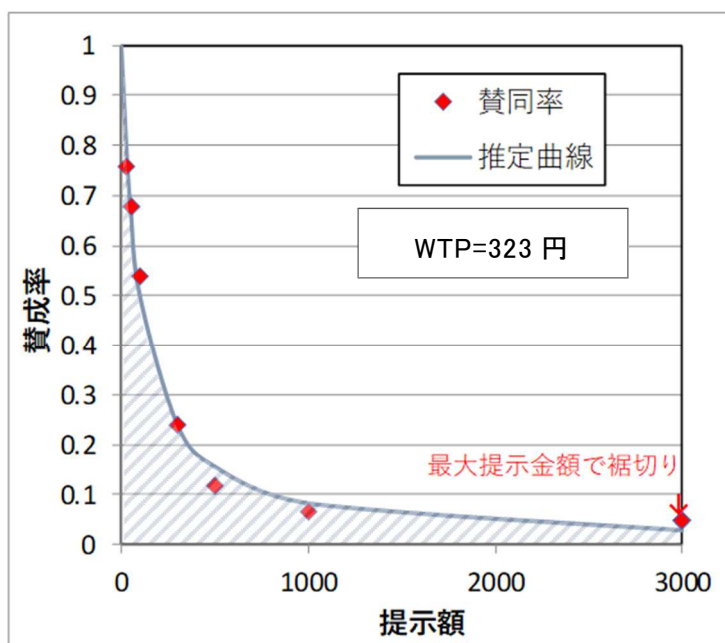
# 相模川総合水系環境整備事業（水辺整備）事業評価 CVM本調査結果

## 1. アンケート集計数

アンケート方法	配布数	回収数	回収率	有効回答数	有効回答率
Web アンケート	3,169	287	9.1%	200	69.7%

## 2. WTP 算定結果

提示額	賛成	反対
30	152	48
50	136	64
100	108	92
300	48	152
500	24	176
1000	13	187
3000	10	190



## 3. B/C 算定結果

WTP(円)	受益世帯数	B(百万円)	C(百万円)	B/C
323	56,041	6,687	553	12.1

◇B は現存価値を加算した

◇年便益 = WTP × 受益世帯数 × 12 ヶ月

$$= 323 \times 56,041 \times 12 = 217 \text{ (百万円)}$$

様式-5

費用対便益 (全体事業)

水系名：相模川水系 河川名：相模川

単位：百万円

年次	年度	t	便 益 (B)				費 用 (C)						費用便益比 B/C	純現在価値 B-C
			便益		残存 価値 ②	計 ①+②	建設費③		維持管理費④		計③+④			
			便益	現在価値 ①			費用	現在価値	費用	現在価値	費用	現在価値		
基準	R 4	0												
整備期間 (2015R2年)	H 20	-14	0	0		48	93			48	93			
	H 21	-13	17	28		96	185			96	185			
	H 22	-12	33	54		38	70			38	70			
	H 23	-11	50	77		12	21			12	21			
	H 24	-10	67	99		12	20			12	20			
	H 25	-9	84	119		0	0			0	0			
	H 26	-8	100	137		8	12			8	12			
	H 27	-7	117	154		28	39			28	39			
	H 28	-6	134	169		29	39			29	39			
	H 29	-5	150	183		35	44			35	44			
	H 30	-4	167	195		9	11	0.09	0.11	10	11			
	R 1	-3	184	207		6	6	0.27	0.30	6	7			
	R 2	-2	201	217		9	10	0.00	0.00	9	10			
R 3	-1	217	226				0.09	0.09	0.09	0.09				
R 4	0	217	217											
R 5	1	217	209											
R 6	2	217	201											
R 7	3	217	193				0.09	0.08	0.09	0.08				
R 8	4	217	186				0.09	0.08	0.09	0.08				
R 9	5	217	179				0.09	0.07	0.09	0.07				
R 10	6	217	172				0.09	0.07	0.09	0.07				
R 11	7	217	165				0.27	0.21	0.27	0.21				
R 12	8	217	159											
R 13	9	217	153				0.09	0.06	0.09	0.06				
R 14	10	217	147											
R 15	11	217	141											
R 16	12	217	136											
R 17	13	217	130				0.09	0.05	0.09	0.05				
R 18	14	217	125				0.09	0.05	0.09	0.05				
R 19	15	217	121				0.09	0.05	0.09	0.05				
R 20	16	217	116				0.09	0.05	0.09	0.05				
R 21	17	217	112				0.27	0.14	0.27	0.14				
R 22	18	217	107											
R 23	19	217	103				0.09	0.04	0.09	0.04				
R 24	20	217	99											
R 25	21	217	95											
R 26	22	217	92											
R 27	23	217	88				0.09	0.04	0.09	0.04				
R 28	24	217	85				0.09	0.04	0.09	0.04				
R 29	25	217	81				0.09	0.03	0.09	0.03				
R 30	26	217	78				0.09	0.03	0.09	0.03				
R 31	27	217	75				0.27	0.09	0.27	0.09				
R 32	28	217	72											
R 33	29	217	70				0.09	0.03	0.09	0.03				
R 34	30	217	67											
R 35	31	217	64											
R 36	32	217	62											
R 37	33	217	60				0.09	0.02	0.09	0.02				
R 38	34	217	57				0.09	0.02	0.09	0.02				
R 39	35	217	55				0.09	0.02	0.09	0.02				
R 40	36	217	53				0.09	0.02	0.09	0.02				
R 41	37	217	51				0.27	0.06	0.27	0.06				
R 42	38	217	49											
R 43	39	217	47				0.09	0.02	0.09	0.02				
R 44	40	217	45											
R 45	41	217	44											
R 46	42	217	42											
R 47	43	217	40				0.09	0.02	0.09	0.02				
R 48	44	217	39				0.09	0.02	0.09	0.02				
R 49	45	217	37				0.09	0.02	0.09	0.02				
R 50	46	217	36				0.09	0.01	0.09	0.01				
R 51	47	217	34				0.27	0.04	0.27	0.04				
R 52	48	217	33											
合 計			12,164	6,686	2.8	6,688	328	551	4	2	332	553	12.1	6,136

総便益	B	6,686
総費用	C	551
費用便益比	B/C	12.1
純現在価値	B-C	6,136
経済的内部収益率		35.0%



## 事業費の内訳書

### 河川事業

事業名	相模川総合水系環境整備事業（全体事業費）
-----	----------------------

※（ ）欄に残事業費、全体事業費の別を記入すること。

評価年度	R4	完了後の事後評価
------	----	----------

※ 評価の種類(新規事業採択時評価、再評価、完了後の事後評価)の別を記入すること。

区分	費目	工種	単位	数量	金額 (百万円)	備考
工事費	本工事費		式	1	197	
			式	1	197	
		管理用道路(散策路)	km	2.7	140	
		階段	箇所	3	17	
		平場(側帯盛土)	箇所	1	5	
		坂路	箇所	1	20	
		親水護岸	箇所	1	15	
間接経費			式	1	99	
工事諸費			式	1	52	
事業費 計			式	1	349	

維持管理費			式	1	4.4	
-------	--	--	---	---	-----	--

※1 事業費については、事業の執行状況を踏まえて再評価ごとに適宜見直すこと。

※2 「工種」及び「金額」については、原則、治水経済調査マニュアル(案)に準拠して記載すること。

※3 上記によらないものについては、過去の類似の実績等に基づき記載すること。

※4 備考欄に、一式計上している工種の内容等を記載すること。

・ 全体事評価（相模川）

全体事業評価

単位: 百万円

	被害軽減効果 総便益	残存価値	総便益	総建設費	総維持 管理費	総事業費	費用 便益比	備考
	①	②	③=①+②	④	⑤	⑥=④+⑤	⑦=③/⑥	
基本	6,686	3	6,688	551	2	553	12.1	
資産+10%	7,356	3	7,359	551	2	553	13.3	
資産-10%	6,018	3	6,021	551	2	553	10.9	

様式-5

費用対便益 (全体事業：資産+10%)

水系名：相模川水系 河川名：相模川

単位：百万円

年次	年度	t	便 益 (B)				費 用 (C)						費用便益比 B/C	純現在価値 B-C	
			便益		残存価値 ②	計 ①+②	建設費③		維持管理費④		計③+④				
			便益	現在価値 ①			費用	現在価値	費用	現在価値	費用	現在価値			
基準	R 4	0													
整備期間 H 20 S R 2年	H 20	-14	0	0			48	93			48	93			
	H 21	-13	18	31			96	185			96	185			
	H 22	-12	37	59			38	70			38	70			
	H 23	-11	55	85			12	21			12	21			
	H 24	-10	74	109			12	20			12	20			
	H 25	-9	92	131			0	0							
	H 26	-8	110	151			8	12			8	12			
	H 27	-7	129	169			28	39			28	39			
	H 28	-6	147	186			29	39			29	39			
	H 29	-5	165	201			35	44			35	44			
	H 30	-4	184	215			9	11	0.09	0.11	10	11			
	R 1	-3	202	227			6	6	0.27	0.30	6	7			
	R 2	-2	221	239			9	10	0.00	0.00	9	10			
	施設完成後の 評価期間 S 0年	R 3	-1	239	248					0.09	0.09	0.09	0.09		
		R 4	0	239	239										
R 5		1	239	230											
R 6		2	239	221											
R 7		3	239	212					0.09	0.08	0.09	0.08			
R 8		4	239	204					0.09	0.08	0.09	0.08			
R 9		5	239	196					0.09	0.07	0.09	0.07			
R 10		6	239	189					0.09	0.07	0.09	0.07			
R 11		7	239	182					0.27	0.21	0.27	0.21			
R 12		8	239	175											
R 13		9	239	168					0.09	0.06	0.09	0.06			
R 14		10	239	161											
R 15		11	239	155											
R 16		12	239	149											
R 17		13	239	143					0.09	0.05	0.09	0.05			
R 18		14	239	138					0.09	0.05	0.09	0.05			
R 19		15	239	133					0.09	0.05	0.09	0.05			
R 20		16	239	128					0.09	0.05	0.09	0.05			
R 21		17	239	123					0.27	0.14	0.27	0.14			
R 22		18	239	118											
R 23		19	239	113					0.09	0.04	0.09	0.04			
R 24		20	239	109											
R 25		21	239	105											
R 26		22	239	101											
R 27		23	239	97					0.09	0.04	0.09	0.04			
R 28		24	239	93					0.09	0.04	0.09	0.04			
R 29		25	239	90					0.09	0.03	0.09	0.03			
R 30		26	239	86					0.09	0.03	0.09	0.03			
R 31		27	239	83					0.27	0.09	0.27	0.09			
R 32		28	239	80											
R 33		29	239	77					0.09	0.03	0.09	0.03			
R 34		30	239	74											
R 35		31	239	71											
R 36		32	239	68											
R 37	33	239	65					0.09	0.02	0.09	0.02				
R 38	34	239	63					0.09	0.02	0.09	0.02				
R 39	35	239	61					0.09	0.02	0.09	0.02				
R 40	36	239	58					0.09	0.02	0.09	0.02				
R 41	37	239	56					0.27	0.06	0.27	0.06				
R 42	38	239	54												
R 43	39	239	52					0.09	0.02	0.09	0.02				
R 44	40	239	50												
R 45	41	239	48												
R 46	42	239	46												
R 47	43	239	44					0.09	0.02	0.09	0.02				
R 48	44	239	43					0.09	0.02	0.09	0.02				
R 49	45	239	41					0.09	0.02	0.09	0.02				
R 50	46	239	39					0.09	0.01	0.09	0.01				
R 51	47	239	38					0.27	0.04	0.27	0.04				
R 52	48	239	36												
合 計			13,380	7,356	2.8	7,359	328	551	4.0	2.0	332	553	13.3	6,806	

様式-5

費用対便益（全体事業：資産-10%）

水系名：相模川水系 河川名：相模川

単位：百万円

年次	年度	t	便 益 (B)				費 用 (C)						費用便益比 B/C	純現在価値 B-C
			便益		残存価値 ②	計 ①+②	建設費③		維持管理費④		計③+④			
			便益	現在価値 ①			費用	現在価値	費用	現在価値	費用	現在価値		
基準	R 4	0												
整備期間 （2052年）	H 20	-14	0	0		48	93			47.62	92.82			
	H 21	-13	15	25		96	185			95.71	185.16			
	H 22	-12	30	48		38	70			37.52	69.64			
	H 23	-11	45	69		12	21			11.90	20.78			
	H 24	-10	60	89		12	20			11.90	20.13			
	H 25	-9	75	107		0	0							
	H 26	-8	90	123		8	12			7.87	11.63			
	H 27	-7	105	139		28	39			27.97	39.48			
	H 28	-6	120	152		29	39			28.95	39.35			
	H 29	-5	135	165		35	44			34.55	44.16			
	H 30	-4	150	176		9	11	0.09	0.11	9.57	11.34			
	R 1	-3	165	186		6	6	0.27	0.30	5.93	6.71			
	R 2	-2	180	195		9	10			9.09	9.83			
	施設完成後の 評価期間 （50年）	R 3	-1	195	203				0.09	0.09	0.09	0.09		
		R 4	0	195	195									
		R 5	1	195	188									
R 6		2	195	181										
R 7		3	195	174				0.09	0.08	0.09	0.08			
R 8		4	195	167				0.09	0.08	0.09	0.08			
R 9		5	195	161				0.09	0.07	0.09	0.07			
R 10		6	195	155				0.09	0.07	0.09	0.07			
R 11		7	195	149				0.27	0.21	0.27	0.21			
R 12		8	195	143										
R 13		9	195	137				0.09	0.06	0.09	0.06			
R 14		10	195	132										
R 15		11	195	127										
R 16		12	195	122										
R 17		13	195	117				0.09	0.05	0.09	0.05			
R 18		14	195	113				0.09	0.05	0.09	0.05			
R 19		15	195	109				0.09	0.05	0.09	0.05			
R 20		16	195	104				0.09	0.05	0.09	0.05			
R 21		17	195	100				0.27	0.14	0.27	0.14			
R 22		18	195	97										
R 23		19	195	93				0.09	0.04	0.09	0.04			
R 24		20	195	89										
R 25		21	195	86										
R 26		22	195	82										
R 27		23	195	79				0.09	0.04	0.09	0.04			
R 28		24	195	76				0.09	0.04	0.09	0.04			
R 29		25	195	73				0.09	0.03	0.09	0.03			
R 30		26	195	71				0.09	0.03	0.09	0.03			
R 31		27	195	68				0.27	0.09	0.27	0.09			
R 32		28	195	65										
R 33		29	195	63				0.09	0.03	0.09	0.03			
R 34		30	195	60										
R 35		31	195	58										
R 36		32	195	56										
R 37	33	195	54				0.09	0.02	0.09	0.02				
R 38	34	195	52				0.09	0.02	0.09	0.02				
R 39	35	195	50				0.09	0.02	0.09	0.02				
R 40	36	195	48				0.09	0.02	0.09	0.02				
R 41	37	195	46				0.27	0.06	0.27	0.06				
R 42	38	195	44											
R 43	39	195	42				0.09	0.02	0.09	0.02				
R 44	40	195	41											
R 45	41	195	39											
R 46	42	195	38											
R 47	43	195	36				0.09	0.02	0.09	0.02				
R 48	44	195	35				0.09	0.02	0.09	0.02				
R 49	45	195	33				0.09	0.02	0.09	0.02				
R 50	46	195	32				0.09	0.01	0.09	0.01				
R 51	47	195	31				0.27	0.04	0.27	0.04				
R 52	48	195	30											
合 計			10,948	6,018	2.8	6,021	328	551	4.0	2.0	332	553	10.9	5,468